

平成17年基準 消費者物価指数

全国 平成22年9月分

1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として99.8となり、前月比は0.3%の上昇。前年同月比は0.6%の下落となった（高校授業料無償化の影響については19ページ参照）。
 - (2) 生鮮食品を除く総合指数は99.1となり、前月と同水準。前年同月比は1.1%の下落となった。
 - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.1となり、前月比は0.1%の上昇。前年同月比は1.5%の下落となった。
- ~~~~~

図1 指数の動き

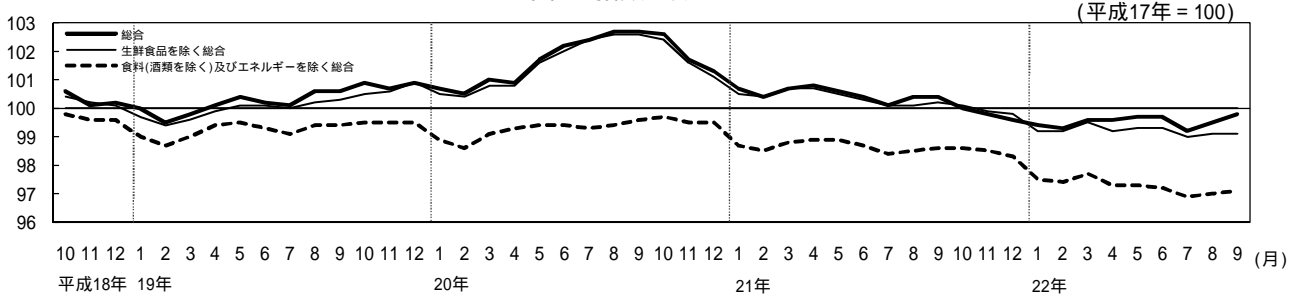


図2 前年同月比の動き

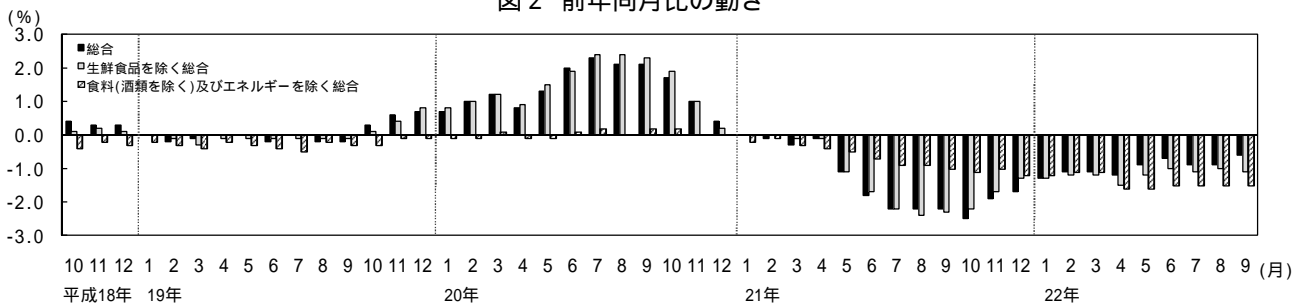


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の指数、前月比及び前年同月比

		平成21年					22年					(平成17年 = 100)			
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総合	指数	100.4	100.0	99.8	99.6	99.4	99.3	99.6	99.6	99.7	99.7	99.2	99.5	99.8	
	前月比 (%)	0.0	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.3	
	前年同月比 (%)	2.2	2.5	1.9	1.7	1.3	1.1	1.1	1.2	0.9	0.7	0.9	0.9	0.6	
生鮮食品を除く総合	指数	100.2	100.1	99.9	99.8	99.2	99.2	99.5	99.2	99.3	99.3	99.0	99.1	99.1	
	前月比 (%)	0.1	0.1	0.2	0.1	0.6	0.0	0.3	0.3	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	
	前年同月比 (%)	2.3	2.2	1.7	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5	1.2	1.0	1.1	1.0	1.1	
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	98.6	98.6	98.5	98.3	97.5	97.4	97.7	97.3	97.3	97.2	96.9	97.0	97.1	
	前月比 (%)	0.1	0.0	0.1	0.2	0.8	0.1	0.3	0.4	0.0	0.1	0.3	0.1	0.1	
	前年同月比 (%)	1.0	1.1	1.0	1.2	1.2	1.1	1.1	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	

注) はマイナスを表す (以下同じ)。

2 全国

2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年 = 100)

指 数	総 合			食 料			住 居	光 熱 水 道	家 具 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 通 信	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	食 料 ・ 工 ネ ル ギ ー を 除 く *	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料	生 食	鮮 品	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料									
指 数	99.8	99.1	97.1	104.6	116.4	102.3	99.3	106.8	88.8	102.2	98.7	98.2	89.8	93.1	101.3
前 月 比 (%)	0.3	0.0	0.1	1.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.2	5.9	0.1	0.7	0.0	1.2	0.1
寄 与 度	0.3	0.00	0.07	0.29	0.26	0.00	0.00	0.00	0.01	0.27	0.00	0.10	0.00	0.12	0.01

* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合(以下同じ)

注) 各寄与度は，総合指数の前月比に対するものである。

総合指数の前月比が 0.3%の上昇となった内訳を寄与度で見ると，食料，被服及び履物などの上昇が要因となっている。

なお，教養娯楽，交通・通信は下落した。

[主な内訳]

10大費目	中 分 類	前月比(寄与度)	品 目	前月比(寄与度)
上昇				
食料	生鮮野菜	7.8%(0.15)	トマト	34.4%(0.06)
			きゅうり	20.6%(0.02) など
被服及び履物	衣料	6.9%(0.14)	背広服(冬物)	13.5%(0.02) など
下落				
教養娯楽	教養娯楽サービス	-1.8%(-0.11)	宿泊料	-7.0%(-0.07) など
交通・通信	交通	-3.0%(-0.08)	航空運賃	-19.8%(-0.05) など

3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前 年 同 月 比 (%)	総 合			食 料			住 居	光 熱 水 道	家 具 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 通 信	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費
	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	食 料 ・ 工 ネ ル ギ ー を 除 く *	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料	生 食	鮮 品	生 鮮 食 品 を 除 く 食 料									
(0.9)	(1.0)	(1.5)	(0.7)	(2.9)	(1.3)	(0.5)	(2.8)	(4.4)	(0.8)	(0.7)	(0.6)	(13.0)	(1.5)	(0.3)	
0.6	1.1	1.5	0.6	10.3	1.4	0.5	3.3	4.2	0.9	0.5	0.0	12.9	1.3	0.3	
(0.9)	(0.95)	(1.02)	(0.18)	(0.13)	(0.28)	(0.10)	(0.20)	(0.14)	(0.04)	(0.03)	(0.08)	(0.49)	(0.15)	(0.02)	
0.6	1.05	1.02	0.15	0.45	0.32	0.10	0.23	0.13	0.04	0.02	0.00	0.48	0.13	0.02	
寄与度差	0.3	0.10	0.00	0.33	0.32	0.04	0.00	0.03	0.01	0.00	0.01	0.08	0.00	0.02	0.00

注) ()は，前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は，総合指数の前年同月比に対するものである。

総合指数の前年同月比が 0.6%の下落となった内訳を寄与度で見ると，教育，家具・家事用品，教養娯楽，住居などの下落が要因となっている。

なお，光熱・水道，食料は上昇した。

[主な内訳]

10大費目	中 分 類	前年同月比(寄与度)	品 目	前年同月比(寄与度)
下落				
教育	授業料等	-17.4%(-0.49)	公立高校授業料	-98.5%(-0.39)
			私立高校授業料	-25.1%(-0.10) など
家具・家事用品	家庭用耐久財	-10.1%(-0.09)	電気冷蔵庫	-22.0%(-0.02) など
教養娯楽	教養娯楽用耐久財	-20.0%(-0.10)	テレビ(薄型)	-33.9%(-0.04) など
住居	家賃	-0.4%(-0.07)	民営家賃(木造中住宅)	-0.3%(0.00) など
上昇				
光熱・水道	電気代	2.8%(0.08)		
食料	生鮮果物	20.6%(0.21)		
			なし	46.1%(0.14) など

参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総 合	財							サービス				
		生鮮食品 を除く財	農 畜 産 物	水 産 物	工 製 業 品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出 版 物	公 共 サービス	一 般 サービス	うち 外 食	うち 民営家賃	
前年同月比 (%)	(0.9)	(0.6)	(0.9)	(1.5)	(1.3)	(5.4)	(1.4)	(0.2)	(1.1)	(3.1)	(0.4)	(0.0)	(0.5)
	0.6	0.0	1.0	5.6	1.6	5.2	2.7	0.3	1.1	3.2	0.4	0.1	0.5
寄与度	(0.9)	(0.30)	(0.41)	(0.11)	(0.46)	(0.24)	(0.07)	(0.00)	(0.55)	(0.40)	(0.15)	(0.00)	(0.01)
	0.6	0.00	0.45	0.41	0.57	0.23	0.13	0.01	0.55	0.41	0.15	0.01	0.01
寄与度差	0.3	0.30	0.05	0.30	0.11	0.01	0.06	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00

注) ()は、前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は、総合指数の前年同月比に対するものである。

参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比(%)		中 分 類	前月比(%)	
1	シャツ・セーター・下着類	8.7	1	交通	3.0
2	生鮮野菜	7.8	2	教養娯楽サービス	1.8
3	生鮮果物	7.7	3	教養娯楽用耐久財	1.5
4	衣料	6.9	4	他の光熱	1.3
5	他の被服類	2.9	5	自動車等関係費	0.3

参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比(%)		中 分 類	前年同月比(%)	
1	生鮮果物	20.6	1	教養娯楽用耐久財	20.0
2	他の光熱	13.3	2	授業料等	17.4
3	生鮮野菜	10.7	3	家庭用耐久財	10.1
4	ガス代	3.6	4	家事用消耗品	4.1
5	生鮮魚介	3.0	5	保健医療用品・器具	3.4

参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目(中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比(%)		中 分 類	寄与度	前年同月比(%)	
1	生鮮果物	0.21	20.6	1	授業料等	0.49	17.4
2	生鮮野菜	0.20	10.7	2	教養娯楽用耐久財	0.10	20.0
3	電気代	0.08	2.8	3	家庭用耐久財	0.09	10.1
3	他の光熱	0.08	13.3	4	家賃	0.07	0.4
5	ガス代	0.07	3.6	5	教養娯楽用品	0.06	2.7

前年同月比の下落幅の縮小に寄与した主な項目(中分類) 注1)

	前月	今月
生鮮野菜	3.5%(0.06)	10.7%(0.20)
生鮮果物	8.3%(0.09)	20.6%(0.21)

別掲 注1)

石油製品 注2)	7.0%(0.26)	4.0%(0.15)
エネルギー 注3)	4.3%(0.33)	3.7%(0.28)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については19ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

[総合指数の前年同月比の変動に寄与した項目]

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比の下落幅は0.1ポイント拡大。（8月 1.0% 9月 1.1%）
- ・電気代，都市ガス代の上昇幅が拡大したものの，灯油，ガソリンの上昇幅が縮小。エネルギーにより総合の下落幅が0.05ポイント拡大。
- ・生鮮食品を除く食料により総合の下落幅が0.04ポイント拡大。

表1 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成22年 8 月		平成22年 9 月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	740	4.3	0.33	-0.2	3.7	0.28	-0.05
電気代	292	1.3	0.04	0.5	2.8	0.08	0.04
都市ガス代	93	2.8	0.03	0.2	5.0	0.05	0.02
石油製品	355	7.0	0.26	-0.7	4.0	0.15	-0.11
プロパンガス	78	2.1	0.02	0.0	2.1	0.02	0.00
灯油	53	17.4	0.10	-1.3	13.3	0.08	-0.02
ガソリン	224	6.4	0.15	-0.9	2.3	0.05	-0.09

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成22年 8 月		平成22年 9 月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	111	-10.6	-0.09	0.4	-10.1	-0.09	0.00
教養娯楽用耐久財	118	-20.1	-0.10	-1.5	-20.0	-0.10	0.00
テレビ（薄型）	37	-33.2	-0.04	-3.9	-33.9	-0.04	0.00
パソコン（デスクトップ型）	13	-32.0	-0.01	-1.9	-29.9	-0.01	0.00
パソコン（ノート型）	21	-22.8	-0.01	-4.9	-22.1	-0.01	0.00
カメラ	8	-36.0	-0.01	-2.5	-37.1	-0.01	0.00

表3 交通・通信，教育及び教養娯楽の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万分比 ウエイト	平成22年 8 月		平成22年 9 月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	23	-3.4	-0.01	-19.8	-8.4	-0.02	-0.01
携帯電話通信料	208	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.00
高速自動車国道料金	32	-3.4	-0.01	0.0	-3.4	-0.01	0.00
自動車	179	-0.5	-0.01	0.0	-0.5	-0.01	0.00
外国パック旅行	51	4.0	0.03	-8.8	5.2	0.03	0.00
宿泊料	89	-0.9	-0.01	-7.0	-1.9	-0.02	-0.01
公立高校授業料	38	-98.5	-0.39	0.0	-98.5	-0.39	0.00
私立高校授業料	41	-25.1	-0.10	0.0	-25.1	-0.10	0.00

注) 「私立高校授業料」の変動には，高校授業料無償化以外の授業料等の改定分も含む。

表4-1 食料の主な品目の前年同月比及び寄与度（前年同月比下位5品目）

	万分比 ウエイト	平成22年8月		平成22年9月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
生鮮食品を除く食料	2174	-1.3	-0.28	0.0	-1.4	-0.32	-0.04
食用油	9	-12.8	-0.01	1.2	-9.9	-0.01	0.00
ビスケット	11	-9.2	-0.01	0.0	-9.7	-0.01	0.00
ミネラルウォーター	8	-7.9	-0.01	0.1	-7.7	0.00	0.00
液体調味料	13	0.2	0.00	1.0	-7.4	-0.01	-0.01
混ぜごはんのもと	11	-4.2	0.00	-0.7	-7.4	-0.01	0.00

注) 主な品目は、生鮮食品及び外食を除く。なお、生鮮食品を除く食料は外食を含む。

表4-2 総合指数の前年同月比に対する食料の寄与度（魚介類、野菜・海藻、果物を除く）

	万分比 ウエイト	平成22年8月		平成22年9月			主な品目（前月比）
		前年同月比(%)	寄与度	前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	
穀類	219	-2.6	-0.06	-2.7	-0.06	-0.1	あんパン(-0.5%) 食パン(-0.4%)
肉類	198	-1.3	-0.03	-1.6	-0.03	-0.2	牛肉A(-0.7%) 豚肉A(-0.7%)
乳卵類	109	-0.9	-0.01	-0.9	-0.01	1.1	鶏卵(3.6%) チーズ(2.5%)
油脂・調味料	101	-0.1	0.00	-2.3	-0.02	0.2	ふりかけ(2.5%) カレールウ(2.4%)
菓子類	217	-1.8	-0.04	-1.8	-0.04	0.2	アイスクリーム(2.7%) だいふく餅(0.6%)
調理食品	283	-1.9	-0.06	-1.2	-0.04	0.0	調理パスタ(3.7%) 調理パン(1.0%)
飲料	145	-1.9	-0.03	-1.9	-0.03	-0.2	コーヒー飲料(-1.2%) 緑茶(-1.0%)
酒類	136	-1.7	-0.02	-1.3	-0.02	0.5	チューハイ(1.8%) ウイスキー(1.2%)
外食	555	0.0	0.00	-0.1	-0.01	-0.1	牛丼(-1.7%) すし(回転ずし)(-1.6%)

牛肉A : 国産品, ロース
豚肉A : ロース

図1 総合指数の動き

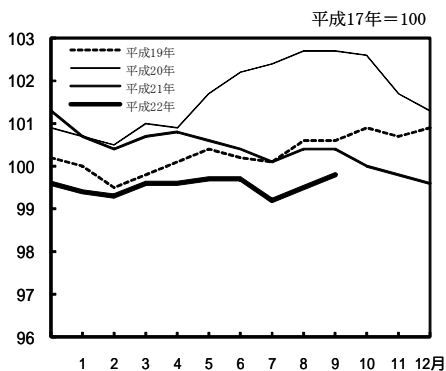


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

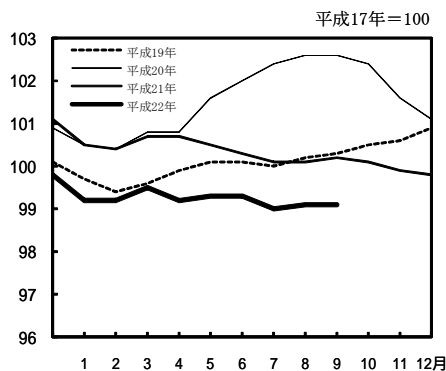


図3 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き

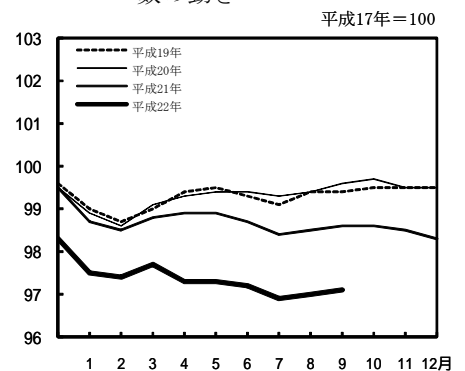


図4 電気代指数の動き

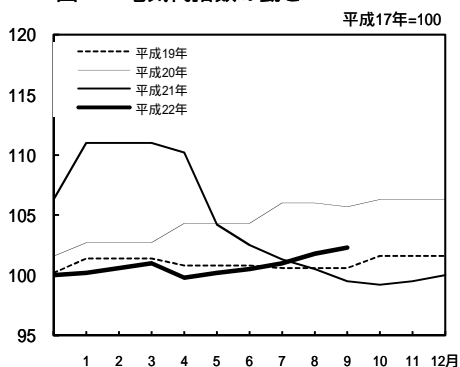


図5 ガソリン指数の動き

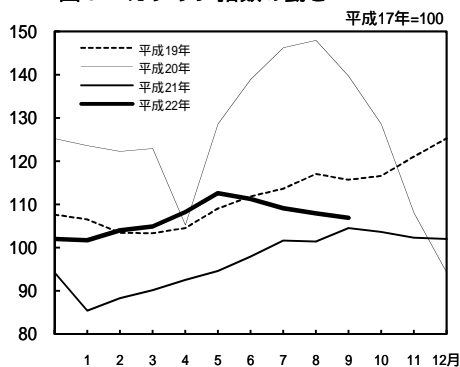


図6 生鮮食品を除く食料指数の動き

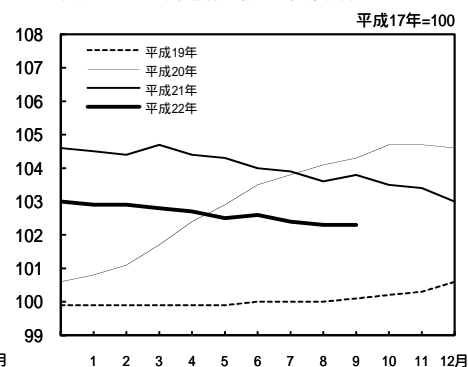
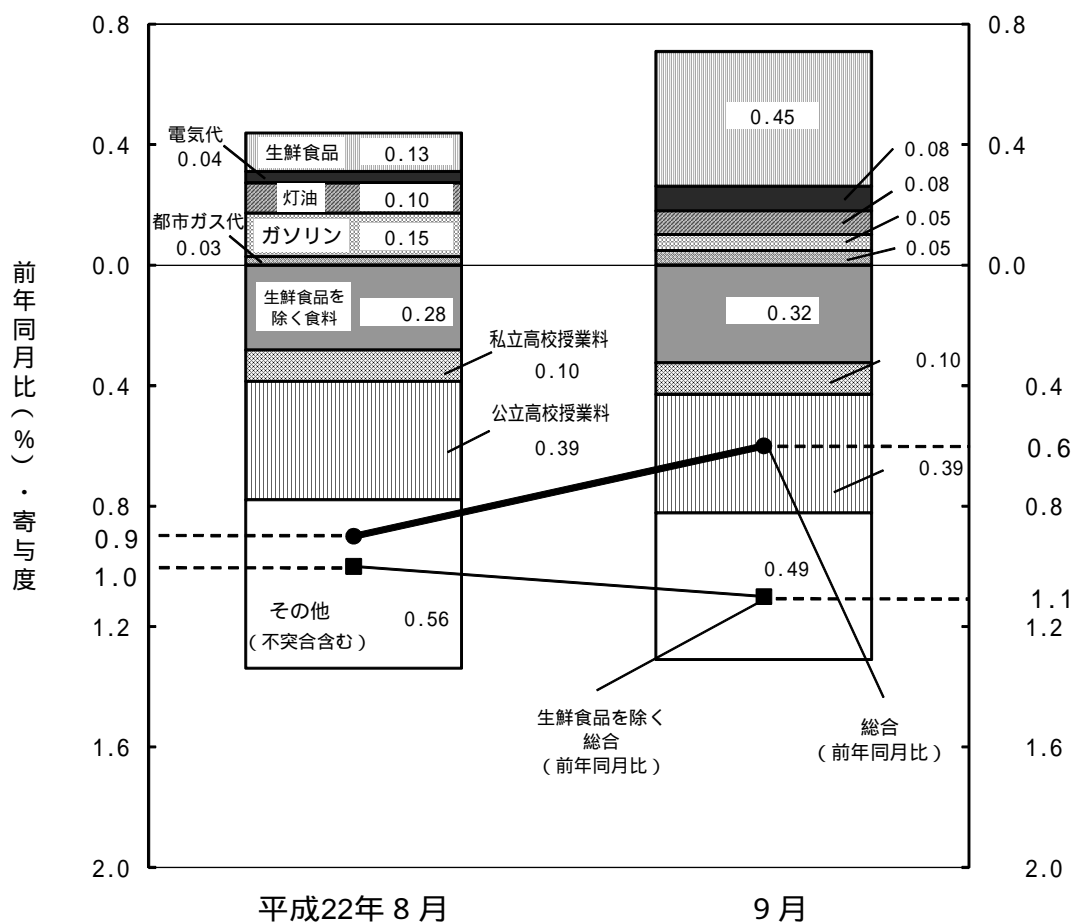


図7 総合指数の前年同月比に対する寄与度の変化



< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウェイトを使用し、次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left(\frac{\text{当期の品目Aの指数} - \text{前期の品目Aの指数}}{\text{前期の総合指数}} \right) \times \frac{\text{品目Aのウェイト}}{\text{総合のウェイト}}}{1} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し、小数第2位まで表章している。そのため、足し上げても上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し、小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため、当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。